

2024年11月7日

第24回 日中韓三カ国会計基準設定主体会議を開催

2024年日中韓三カ国会計基準設定主体会議が10月31日に韓国の済州島で開催されました。本会議には、企業会計基準委員会（ASBJ）の川西安喜委員長、中国会計准则委員会（CASC）のJuan Zhang副司長、韓国会計研究院（KAI）のHan Yi会長をはじめとする三カ国の代表者が参加しました。また、香港及びマカオからは、香港公認会計士協会のCecilia Kwei基準設定部ディレクター及びマカオ会計士委員会のPou Man Ng委員が本会議に参加しました。

日本、中国、韓国、香港及びマカオの代表者は、IFRS会計基準の適用の進捗状況及び各法域における会計基準の開発に関する最近の活動状況を報告したほか、電力購入契約、持分法及びIFRS第16号「リース」の適用後レビューについて、生産的で詳細な議論を行いました。

今回の会議で、代表者たちは次の事項について協力していくことで合意しました。

1. 単一の高品質なグローバルな会計基準としてのIFRS会計基準へのコミットメントを強化すること。
2. IASBの作業に貢献するため、潜在的な基準設定上の論点を積極的に識別してリサーチを行い、IASBの主要プロジェクトの議論に積極的に参加すること。
3. 地域におけるIFRS会計基準の一貫した適用を可能にするため、意見及び経験を共有することを目的として、三カ国間のコミュニケーションを強化すること。

次回の日中韓三カ国会計基準設定主体会議は、2025年に日本で開催される予定です。

以上